

令和4年度第2回区民との意見交換会 要旨

〈テーマ〉 光が丘清掃工場見学

○参加者 8名

- 清掃一組説明者
 - 森田企画室長
 - 能戸企画室計画担当課長
 - 稲井経営改革担当課長
 - 新井管理課長
 - 宮崎光が丘清掃工場長

質疑応答

| 区民の方からの質問・意見 | 清掃一組回答 |
|---|---|
| <p>光が丘清掃工場の排熱を使って光が丘団地に給湯しているということだが、建替工事中はどこから給湯されたのか。</p> | <p>光が丘団地への熱供給は、東京熱供給株式会社を通じて行っています。現在もオーバーホール期間中等で清掃工場が停止している時は熱供給も停止しています。その際は、東京熱供給株式会社が都市ガス等を使用して熱供給を行っています。</p> |
| <p>今後の焼却計画の見直しをいつするのか。</p> | <p>一般廃棄物処理基本計画の見直しについては、令和6年度末を見込んでいます。</p> |
| <p>日本の人口が減っていく中で、国もサーキュラーエコノミーやプラスチックの全量回収を進めており、ごみも減少していくのではないかと見られています。ごみを燃やすという方向を見直そうという風潮の中で、今後も清掃工場の建替え、拡充、炉の拡大といった政策からの切替えをいつするのか。</p> | <p>一般廃棄物処理基本計画では、ごみ量を予測した上で清掃工場等の施設整備計画を定めています。家庭ごみ量の予測では、一人一日当たりのごみ排出量が令和16年度までに一人世帯で72グラム減少、複数人世帯で28グラム減少を見込んでいます。一方、東京都による23区の人口予測は単身世帯人口が令和16年度以降まで、複数人世帯人口が令和7年度まで増加する予測になっています。一人一日当たり排出量の減少と人口増加により、家庭ごみ量はほぼ横ばいと予測しました。新型コロナ禍で23区の人口が減ったと言われてはいますが、それでもごみ量予測に用いた人口を上回っている状況です。</p> <p>また、プラスチックの資源化も進んでいくと考えていますが、プラスチック製品が他の素材に置き換わってごみとして入ってくるのが考えられます。こうした最近2、3年の傾向や推移を見つつ、次回の一般廃棄物処理基本計画の改定やごみ量予測に反映させていこうと思います。</p> |
| <p>プラスチックの全量回収に伴って、リサイクル業者がプラスチックを選別するソーティングセンターを23区内に確保するのが厳しい状態にある。清掃工場の中で設置場所を提供するのはどうか。</p> | <p>清掃一組の役割は、まずはごみを処理することにあります。清掃工場の敷地も狭いため、ごみを処理しながらソーティングセンターに活用できるだけのスペースは無いと考えています。また、スペースがあったとしても特定の所在区だけではなく、23区が共有で使える形となるように議論が必要であると考えています。</p> |

| | |
|---|--|
| <p>清掃一組の役割は中間処理であるが、中間処理イコール燃やすことというふうに短絡して捉える時代は終わっているのではないか。清掃一組として中間処理の将来的な展望をどのように考えているのか。</p> | <p>中間処理の方法は焼却以外にもいろいろありますが、23区では清掃工場の土地が限られており難しいです。地方ではバイオガス化などを行っています。広大な土地が必要であり、処理をするごみ量が23区と比較して非常に少ないため実現可能であると考えています。</p> <p>23区から出るごみは年間250万トンを超えていますので、この量を中間処理できる技術としては今のところ焼却しかないと考えています。</p> <p>ただし、今後の技術で、清掃一組として採用できるものがあれば、随時検討したいと思います。</p> |
| <p>昨年、皮革処理の委託業者で死亡事故があったが、委託先の労働者がどういうふうに働いているのか、清掃一組、あるいは各区のごみを出す側が全然知らなかった。働く人たちの安全も守りながら住民のための清掃事業をどのようにやっていくのか。清掃一組全体あるいは光が丘工場としてどのようなになっているのか。</p> | <p>安全に関しては、直営も委託も同じように安全管理に十分注意しなければならないと考えています。安全パトロールも含めて日々気をつけていますが、直営も委託も労働災害や昨年の死亡事故を重く受け止め、清掃一組をあげて安全対策を講じていきます。また、今年度に入ってから、処理技術担当部長によるパトロールも新たな取組としてあります。今後も十分に信頼されるような指導をしていきます。</p> <p>光が丘清掃工場としては、安全衛生法にのっとり対応しており、月一回の安全衛生委員会、各所属・係での安全パトロール、工場長の職場巡回等を行い、日々の安全に努めています。この光が丘地区の中でしっかりと地に足をつけて業務に当たっていきたいと思います。</p> |
| <p>光が丘清掃工場は、最新の工場ということで、ほぼ100%直営ということでもいいのか。</p> | <p>光が丘清掃工場の操業に関しては清掃一組職員（直営）で行っていますが、場内の清掃などは部分的に委託しています。</p> |
| <p>発電効率について、1炉と2炉をそれぞれ稼働していた場合の発電効率はどのようになるのか。</p> | <p>（後日回答）回答についてはQ&Aにも掲載しています。</p> <p>光が丘清掃工場の発電機は、焼却炉が2炉稼働しているときに最大の発電効率になるように設計されています。例として、外気温4℃の冬の場合、発電効率は1炉稼働時は17.9%、2炉稼働時は19.5%となります。</p> |
| <p>1炉で燃やした場合と2炉で燃やした場合のCO₂の排出量はどのように変化するのか。</p> | <p>（後日回答）回答についてはQ&Aにも掲載しています。</p> <p>CO₂の排出量はごみの焼却量によって変化します。したがって、1炉で150トンのごみを処理した場合と2炉で300トンのごみを処理した場合とでは、ごみの量が倍となりますので、CO₂排出量もほぼ倍となります。</p> |
| <p>煙突から現在煙が見えないが、それについてどんな工夫をしているのか。</p> | <p>（後日回答）回答についてはQ&Aにも掲載しています。</p> <p>煙突から出る排ガスは、排ガス処理設備により煤等の煙の原因物質やその他の有害物質が取り除かれています。</p> <p>冬場の寒いときに稀に煙のように白く見えるものは、いわゆる湯気で排ガスに含まれている水分が急激に冷やされ水滴となり、そこに太陽光が反射したもので、煤等の煙ではありません。</p> <p>当工場の排ガスは約200℃まで加熱しており、水蒸気がほとんど湯気とならないため、煙突出口からの白煙がほぼ発生しません。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>白煙を消すためにどの程度のエネルギーの消費やCO2の排出があるのか。そのためだけにエネルギーを使うのは無駄なのではないかと思うがどう考えているか。</p> | <p>(後日回答) 回答についてはQ&Aにも掲載しています。</p> <p>煙突からの白煙防止については温度を低くする設計とはなっていないため、測定のために温度を下げると中段の触媒の設備などに悪影響が出てきます。そのため、具体的な数値に関しては測定することができません。</p> <p>なお、排ガスを再加熱するエネルギーは白煙防止のためだけではありません。窒素酸化物除去設備が有効に働く温度の確保と煙突からの拡散効果を高めるためです。この加熱にはごみの焼却によって発生した熱エネルギーを活用しているため、CO2の排出量に変化はありません。</p> |
| <p>工場見学で見た事業系のごみの中に資源になるものがたくさんあった。区に見に来てもらったり、分別の徹底をしてもらうことはしているのか。まだであれば早急にやらなければいけないと思う。</p> | <p>分別の徹底について、清掃工場では搬入物検査(常時搬入物検査、独自の搬入物検査、一斉搬入物検査)を行っています。その結果は、各区に報告し、対応をお願いしています。場合によっては、光が丘清掃工場から直接区の清掃リサイクル課にも報告しています。</p> |
| <p>事業系の紙ごみが搬入された時に区に小まめに連絡したり、写真に撮って送るといったことはしていないのか。1か月分ためて区に情報提供することも有効ではないかと思うため提案する。</p> | <p>資源物が清掃工場に搬入された際に日々区に連絡するということはしていません。事業系一般廃棄物についても個別の家庭ごみについても、指導は区の方で行っています。清掃工場ではどんなごみが入っているのかという調査をしてお知らせしています。</p> |
| <p>光が丘工場自体は9,150kWhの発電量だが、工場見学時に見たときは7,000kWh台だったのはどうしてか。また買取価格と売電収入を教えてください。</p> | <p>光が丘清掃工場の発電出力は最大9,150kWhですが、ごみのカロリーによって上下します。今現在のごみのカロリーに合わせた発電量が約7,000kWhということになります。</p> <p>令和3年度の光が丘清掃工場の売電収入は、令和3年3月から令和4年2月で4億9,366万580円、給熱関係の金額が2,032万5,877円です。令和4年度は令和3年度と比べて売電の単価自体が上がっているため、令和4年度は現状の見込みとしてこれより増えると推測しています。</p> |
| <p>町田市のバイオエネルギーセンターには、日量50トンのバイオガス設備と焼却施設の両方があり、合わせて大体300トンで光が丘工場と同じである。こちらの施設では、バイオガス発電のため売電価格もFITで非常に高く、1か月の売電収入が5,000万という高額な金額になったので驚いた。清掃一組でもバイオエネルギーを検討しているのか。</p> | <p>町田市のバイオエネルギーセンターは当組合でも視察に行っており、50トンのバイオガス施設ですが、そのうち6割が残さとして焼却されると聞いています。そうすると敷地面積等から現状では導入が難しいと考えていますが、状況が変わっていけば検討していきたいです。現状では残さの処理を考慮すると難しいと考えています。</p> |
| <p>多摩地域と比較するとプラスチック分別やごみ袋の有料化が遅れている。23区同時に有料化するの厳しいかもしれないが、施設整備やごみ減量に多大な影響があるから、23区・清掃一組どちらかがごみ減量に向けて切り出してほしい。</p> | <p>清掃一組は23区の合意の下、中間処理をするための組織としてつくられています。ごみの有料化については23区の所管であるという現状をご理解ください。</p> |

| | |
|--|--|
| <p>資源化可能な紙類は清掃工場に搬入禁止といった規約をつくってほしい。</p> | <p>現在、搬入物検査を毎日行っていますが、出てくる量が膨大なため、全てをキャッチアップするのは困難です。</p> |
| <p>搬入物検査の結果をホームページで公表してほしい。</p> | <p>先日、墨田清掃工場に産業廃棄物が搬入された件も、今後事件化や、事業者を処分することも含め積極的に対応していきたいと思います。清掃工場へは可燃ごみのみを受入可としておりますが、ご指摘の件については貴重なご意見として伺います。実態についてはごみれば23等でごみの中で紙ごみが4割を占めているという説明をしております。そういったところでも啓発を行うとともに、排出指導の権限は23区にありますので、今後とも区と協力して課題の解決に努めていきます。</p> |